

(会長挨拶)

拝啓、梅雨の候、会員の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、4月の初めに新しい1年生を迎え入れ、大学内での講義もはじまり、ご家庭や大学での生活に落ち着きが出てきた頃合いかとお察しします。本来であれば、新年度当初に本学部保護者説明会や令和4年度宮崎大学教育学部後援会総会を開催し、会員の皆様に直接お会いし、ご挨拶をさせて頂くべきところでしたが、昨今の新型コロナウイルスの感染拡大状況を鑑み、昨年度に引き続き、総会等を中止といたしましたこと、大変残念で申し訳なく思っています。

教育学部のホームページ内に示されているように、本後援会は、教育学部及び教育学研究科における学生の就職活動の支援をするとともに、学生の福利厚生への援助、学部や大学院における教育研究の発展等を図ることを目的として設置されています。

最近の活動においては、教員採用にかかる指導・講演会・合宿等の開催等、学生の「就職対策事業」への支援や、有意義な学生生活を送るための学習環境や活動環境の向上にも力を注いでいます。

このような重要な役割を担う本後援会の会長を拝命し、その責任の重さを痛感していますが、保護者の皆様の代表として、また、宮崎大学の教員（農学部）として、本後援会役員の皆様や事務局の方々と一致団結し、コロナ禍やポストコロナの時代にも対応した、より良い学習環境づくりに尽力していきたいと考えています。

会員の皆様におかれましては、本後援会の活動にご理解いただき、今後とも変わらずご支援・ご協力を賜りますよう、よろしく願いいたします。

はなはだ簡単ではございますが、後援会会長の挨拶とさせていただきます。まだまだ予断を許さない社会情勢ではありますが、ご自愛のほど心よりお祈りしております。

敬具

宮崎大学教育学部後援会  
会長 内田勝久